

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2018.7) 平成29年度:62.

体内異物遺残防止に関する術中看護記録

土田 佑樹, 山近 真実, 黒澤 温, 平田 哲

体内異物遺残防止に関する術中看護記録

旭川医科大学病院 手術部

土田 佑樹, 山近 真実, 黒澤 温, 平田 哲

【はじめに】当院では2005年より手術部患者情報管理システムを導入している。2014年10月にシステムの内容を更新した。その中で、術中看護記録の体内異物遺残防止に関する項目を改善し、看護師の体内異物遺残防止のための行動が記録上で可視化されたので報告する。

【方法】手術に使用するガーゼ類や材料で体内異物遺残の危険性が高いものを44項目挙げて選択式にし、必要時に項目を追加可能にした。手術開始前の準備数と確認結果を入力可能とし、準備数と確認時の数の一致・不一致が判定されるようになった。確認した看護師名を入力可能

にした。

【結果】使用機器数確認は、清潔野の材料を未使用数、不潔野の材料を使用済数として扱い、準備数との一致・不一致が具体的な数字で、タイミングも明確になった。随時追加した項目の数とタイミングが明確になった。確認した看護師が明確になった。

【考察】使用機器確認が具体的な数字で一致・不一致の事実として明確に記録され、不一致の早期発見につながることや、使用機器確認を実施した看護師が明確になり安全性が向上したと考える。